

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第12週の発生動向

□ 全数報告の感染症（12週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、
侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	結核性胸膜炎	咳
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	都城	80歳代	男	—	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	AIDS	食道カンジダ症【指標疾患】・カンジダ症
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、咳、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,575人(定点当たり33.2)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は362人(6.2)で、前週比110%と増加した。中央(20.5)、日向(8.8)、都城(7.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割を占めた。

【インフルエンザ】

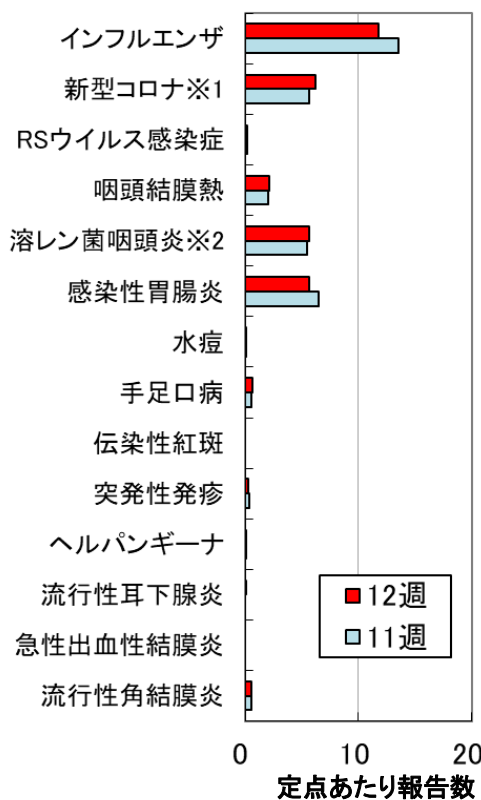
報告数は684人(11.8)で、前週比87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約6.5倍であった。延岡(19.6)、日南(17.8)、中央(15.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は202人(5.6)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約3.3倍であった。小林(7.3)、高千穂(7.0)、宮崎市(6.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳から6歳が全体の約3割を占めた。

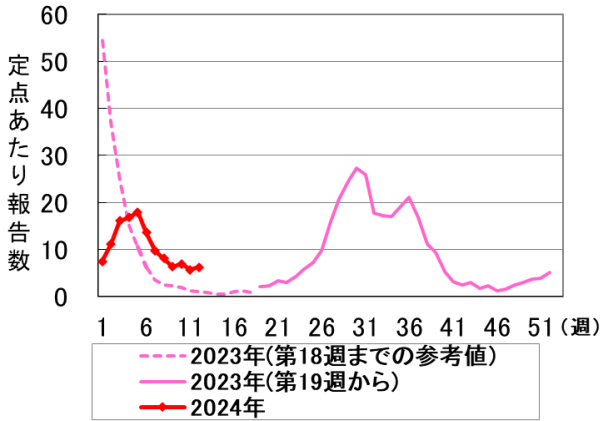
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

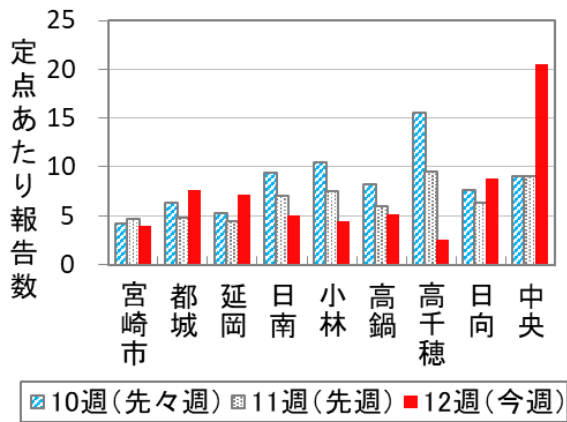


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

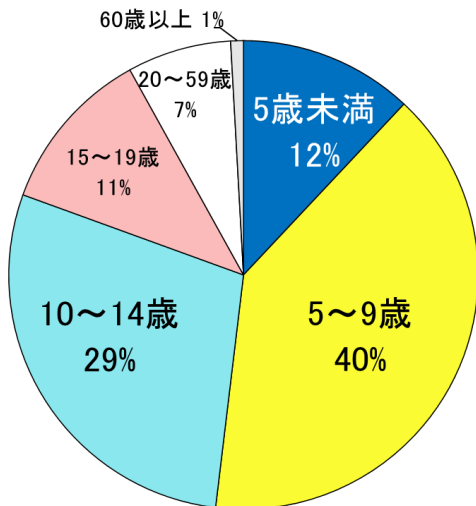
新型コロナウイルス感染症 発生状況



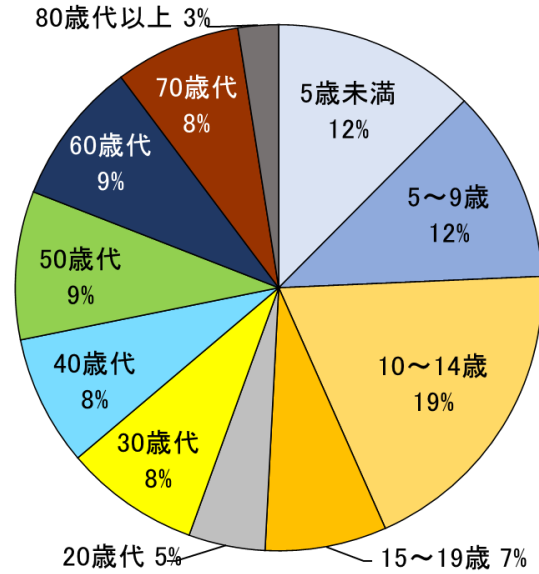
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移 (3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ (第12週)

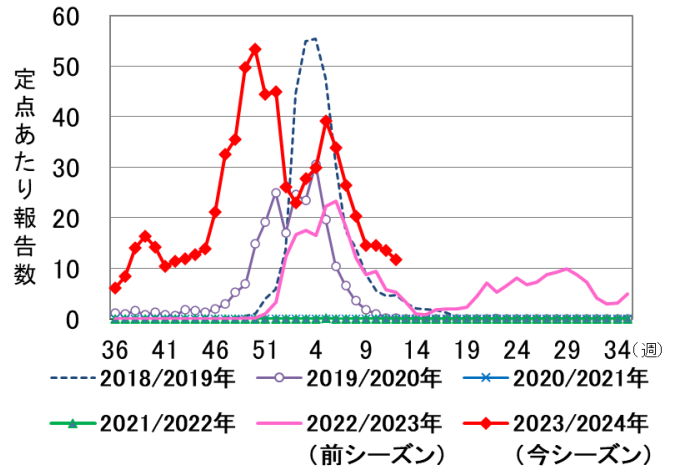


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ (第12週)

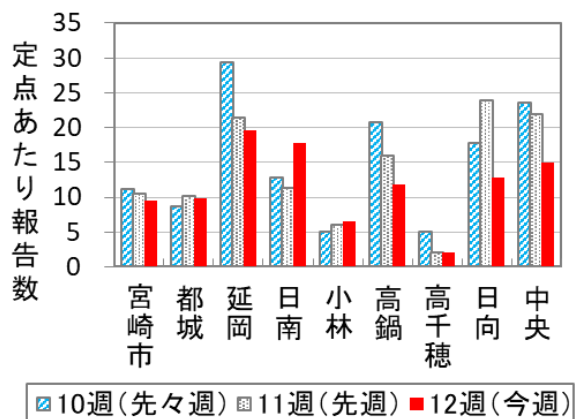


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

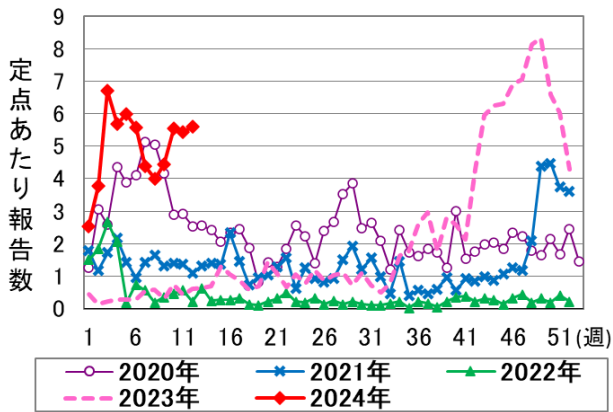
インフルエンザ 発生状況



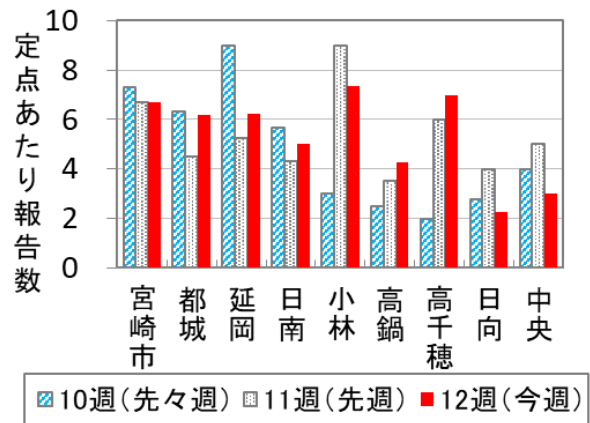
インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	咽頭結膜熱(3.6)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(19.6)
日南	インフルエンザ(17.8)、咽頭結膜熱(6.3)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(11.8)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(12.8)
中央	インフルエンザ(15.0)、手足口病(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2024 年第 11 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	199 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	26 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	7 例	レジオネラ症	20 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	32 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例
	水痘(入院例)	7 例	梅毒	181 例	播種性クリプトкокクス症	6 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	6 例
	麻しん	9 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 85,162 人(17.3)で前週比 107% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.7) の約 6.4 倍であった。新潟県(38.0)、石川県(36.7)、北海道(33.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 30,316 人(6.2)で前週比 94% と減少した。宮城県(12.0)、新潟県(11.4)、岩手県(11.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第12週(03月18日～03月24日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	788	684	151	99	137	89	26	71	4	77	30
	定点当り	13.59	11.79	9.44	9.90	19.57	17.80	6.50	11.83	2.00	12.83	15.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	329	362	63	76	50	25	18	31	5	53	41
	定点当り	5.67	6.24	3.94	7.60	7.14	5.00	4.50	5.17	2.50	8.83	20.50
RSウイルス感染症	報告数	5	6		1	2		2		1		
	定点当り	0.14	0.17	0.00	0.17	0.50	0.00	0.67	0.00	1.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	72	76	36	5	4	19	5	2		3	2
	定点当り	2.00	2.11	3.60	0.83	1.00	6.33	1.67	0.50	0.00	0.75	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	196	202	67	37	25	15	22	17	7	9	3
	定点当り	5.44	5.61	6.70	6.17	6.25	5.00	7.33	4.25	7.00	2.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	234	203	58	45	8	27	22	19	1	19	4
	定点当り	6.50	5.64	5.80	7.50	2.00	9.00	7.33	4.75	1.00	4.75	4.00
水痘	報告数	2	3	2			1					
	定点当り	0.06	0.08	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	19	22	11	1		4					6
	定点当り	0.53	0.61	1.10	0.17	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	11	3	2	1		2	2		1	
	定点当り	0.36	0.31	0.30	0.33	0.25	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1				1					
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1	1							
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	3	2	1							
	定点当り	0.50	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～12週 保健所受理分)

2類感染症	結核	17例(1)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例(1)	後天性免疫不全症候群	1例(1)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)	梅毒	40例(2)	
				百日咳	1例

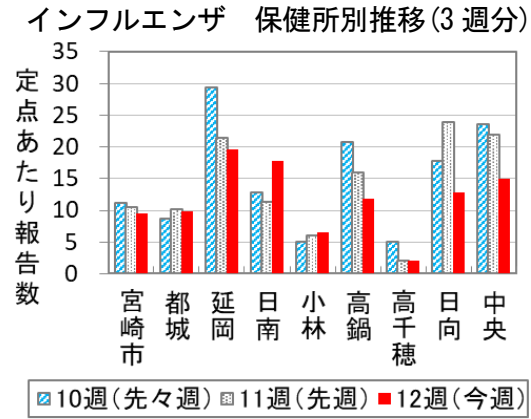
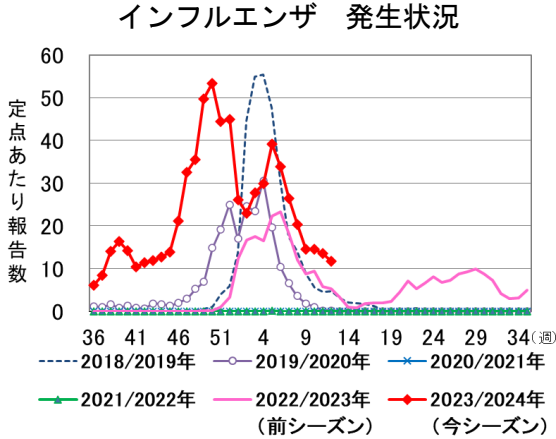
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第12週、全国第11週（再掲）》

□ 県内第12週インフルエンザ発生動向

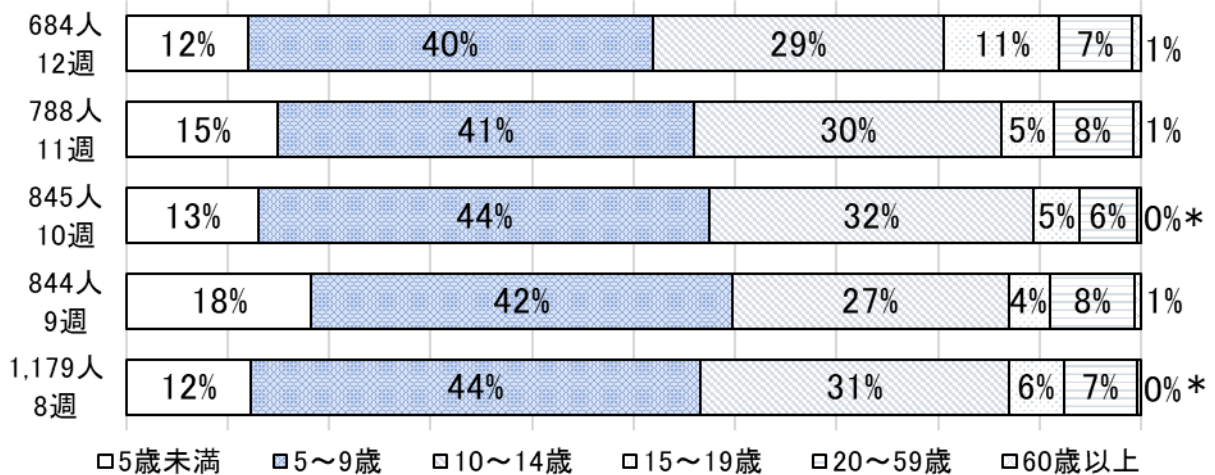
3月18日～3月24日までの1週間で684人(11.8)の報告があった。前週比87%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(1.8)の約6.5倍であった。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

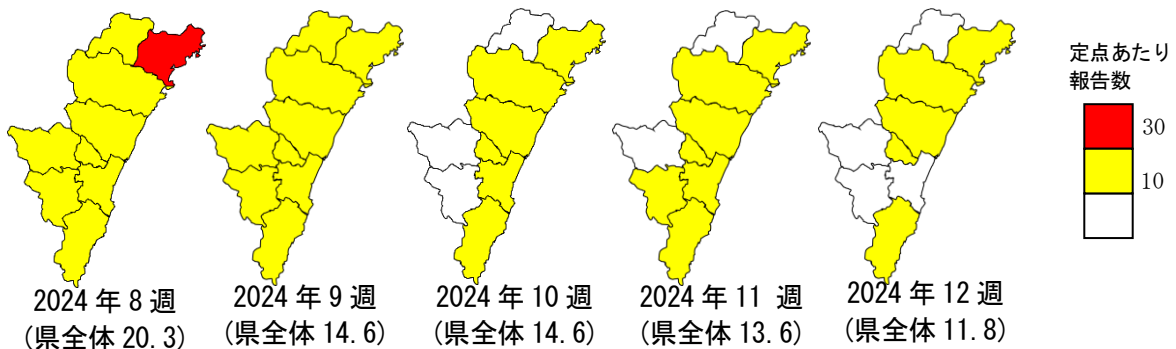


年齢群別割合の推移(2024年第8週～第12週)

* 60歳以上は0.5%未満



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第8週～第12週



□ 全国第11週インフルエンザ発生動向

3月11日～3月17日までの1週間で85,162人(17.3)の報告があった。前週比107%と増加し、新潟県(38.0)、石川県(36.7)、北海道(33.7)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の10%、5-9歳が40%、10-14歳が32%、15-19歳が7%、20-59歳が10%、60歳以上が1%であった。